

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第189回）議事概要

1 日時 令和7年9月1日（月）15:00～16:16

2 場所 Web会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

長谷山 美紀（分科会長代理）、石井 夏生利、伊丹 誠、大柴 小枝子、
加藤 寧、國領 二郎、丹 康雄、藤井 威生、増田 悦子（以上9名）

（2）専門委員（敬称略）

相田 仁、井家上 哲史、石上 忍（以上3名）

（3）総務省

<国際戦略局>

布施田 英生（国際戦略局長）

<総合通信基盤局>

湯本 博信（総合通信基盤局長）

・電気通信事業部

杉浦 維勝（電気通信技術システム課長）、北神 裕（安全・信頼性対策課長）

・電波部

小川 裕之（電波政策課長）、山野 哲也（基幹・衛星移動通信課長）、

向井 ちほみ（電波環境課長）

（4）事務局

金子 創（情報流通行政局情報通信政策課総合通信管理室長）

4 議 題

(1) 答申案件

- ①「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格について」のうち「CISPR
ニューデリー会議 対処方針」について

【昭和 63 年 9 月 26 日付け諮問第 3 号】

【内容】

本件は、9月にインド ニューデリーにて開催される、無線障害対策について検討する国際会議（CISPR）総会及び各小委員会での対処方針について審議を行ったもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、答申（案）を了承し、答申とすることとした。

- ②「ネットワークの IP 化に対応した電気通信設備に係る技術的条件」のうち「電気通信サービスの利用実態の変化等を踏まえた電気通信事故報告制度の在り方」について

【平成 17 年 10 月 31 日付け諮問第 2020 号】

【内容】

本件は、近年の電気通信サービスの利用実態の変化や電気通信事故の発生状況を踏まえ、電気通信事故報告制度の在り方について審議を行ったもの。

審議の結果、IP ネットワーク設備委員会から報告があったとおり、一部答申（案）を了承し、一部答申とすることとした。

(2) 報告案件

- ①モバイル網固定電話の技術的条件に関する検討作業班の立ち上げについて

【平成 17 年 10 月 31 日付け諮問第 2020 号】

【内容】

本件は、MNO によるモバイル網や転送サービスを活用したモバイル網固定電話について、ユニバーサルサービスとして新たに位置付けるにあたり適切な技術基準を検討するための作業班の立ち上げについて、IP ネットワーク設備委員会から報告があったもの。

- ②「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」のうち「衛星コンステレーションによる携帯電話向け 700MHz 帯非静止衛星通信システムの技術的条件」の検討開始について

【平成 7 年 9 月 25 日付け諮問第 82 号】

【内容】

本件は、700MHz 帯を利用する衛星ダイレクト通信システムの導入のため「衛星コンステレーションによる携帯電話向け 700MHz 帯非静止衛星通信システムの技術的条件」の検討を開始することについて、衛星通信システム委員会から報告があったもの。

(3) 議決案件

「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」のうち「電波の利用環境の在り方」について

【令和 7 年 2 月 3 日付け諮問第 30 号】

【内容】

本件は、「電波の安全性に関する我が国の研究等の在り方」「電波の安全性に関する情報発信・啓発等の在り方」「近接結合型 WPT の制度運用の在り方」について、3 月から電波有効利用委員会において検討を行い、取りまとめた報告書について審議したもの。

審議の結果、電波有効利用委員会からの報告書を「電波の利用環境の在り方」一部答申（案）として了承し、次回の情報通信審議会総会に提案することとした。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省 HP において公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局 高橋補佐、岡本補佐、東出係長、
齊藤官

電 話：03-5253-5432

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。